

平成 30 年度管理栄養士専門分野別人材育成事業教育養成領域での人材育成
第 1 回合同会議（全体調整会議・管理栄養士部会・栄養士部会・大学院部会）会議記録

日時：2018 年 6 月 30 日（土）10 時～12 時 30 分

会場：TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンター ホール 12A

出席者

〔全体調整会議〕

武見ゆかり（理事長・議長）、南久則、酒井徹、上西一弘、赤松利恵、市川陽子、三好恵子、田中恵子

〔管理栄養士部会〕

上西一弘（再掲）、栢下淳、榎裕美、赤松利恵（再掲）、木村典代、長幡友実、村山伸子、久保田恵、塚原丘美、新井英一、寺本房子、西村敏英、柳澤幸江、藤井恵子、市川陽子（再掲）、神田知子、石田裕美、横山徹爾、鈴木寿則、加藤昌彦、田中清、南久則（再掲）

〔栄養士部会〕

田中恵子（再掲）、三好恵子（再掲）

〔大学院部会〕

利光久美子、加藤昌彦（再掲）、塚原丘美（再掲）、武見ゆかり（再掲）、阿部絹子、高戸良之

〔厚生労働省〕

健康局健康課栄養指導室 塩澤信良（室長補佐）、田中早苗（係長）、井形愛美
関東信越厚生局 挽地聡美

【挨拶】

厚生労働省健康局健康課栄養指導室 塩澤室長補佐より、社会状況のめまぐるしい変化やニーズに対応できる管理栄養士・栄養士の姿を明らかにし、教育していくにあたり、昨年度の結果をふまえて本年度は具体的な議論を進めていくことが重要である旨、挨拶があった。

【議事】

武見理事長より本日の出席者の確認、本事業の各会議のメンバーについて説明があった。（資料 1、2）

1. 事業概要（資料 3）

昨年度は、管理栄養士養成の栄養学教育モデル・コア・カリキュラムの枠組みを作成した。その結果をふまえ、本年度は具体的なコア・カリキュラムを管理栄養士・栄養士ともに作成する。

また、厚生労働省より、管理栄養士養成のコア・カリキュラムの中に栄養士養成のコア・カリキュラムが含まれる形で提示するよう求められていること、全体として「栄養学教育の

モデル・コア・カリキュラム」であることが重要である旨、説明があった。

2. 各部会の役割・具体的な検討内容（資料4）

資料に基づき、各部会の役割と具体的な検討内容について説明があった。

1) 管理栄養士部会

昨年度報告された「管理栄養士として求められる基本的な資質・能力」をふまえ、現在の教育内容、本学会の「管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム 2015」等を参考に専門分野別に6割程度のコアに絞り込み、中項目・小項目・ねらい・学修目標（案）を作成する。作業は、まず専門分野で整理し、更にグループで整理する。

今回のモデル・コア・カリキュラムは、栄養士法の改定を伴うものではなく、現在の栄養士法に規定されているカリキュラムの時間数を変更することはできないことを考慮し、細かい時間配分については提示しないことが確認された。

具体的な作業については、作業内容の整理等を考慮し、定形のフォーマット（Word、Excel）を各委員に送信し、作業を進めることとした。

2) 大学院部会

高度人材育成としての管理栄養士の資質・能力の整理、教育課程の方法の検討を行う。

高度な専門職の育成という部分を考慮し修士課程（2年間）の検討を行う。必要に応じてメンバーの追加を行う。

3) 栄養士部会

管理栄養士部会から提案される管理栄養士のモデル・コア・カリキュラムをふまえ、栄養士のモデル・コア・カリキュラムの検討を行う。先行して、追加メンバーの人選を行う。

4) 全体調整会議

栄養学教育モデル・コア・カリキュラムに含めるべき説明内容を他の医療職のモデル・コア・カリキュラム等を参考に検討、各部会の検討結果の集約、全体整理、第1回親会議の準備を行う。

3. 今後のスケジュール（資料5）

第1回親会議（8月10日）に向けて、管理栄養士部会は、資料4-3を参考にコア・カリキュラムを定形のフォーマットに整理し、7月31日（水）までに事務局に提出することが確認された。

各グループから提出されたものは、全体調整会議がまとめ「第1案」とし、第1回親会議にて内容の検討を行うこととする。

第2回合同会議は、第1回親会議と同日に行う予定であるが、各部会（グループ）の代表者もしくは全員の参加をもって会議を行うことが確認された。

（記録：事務局 高橋）